

その会議、充実していますか？

「目的の見えない会議」「意見が言えない会議」「モヤモヤした会議」を経験したことはありませんか。参加者が納得しない話し合いでは、決定した事項に対し十分な成果を生み出すことができません。この研修では意見を引き出し、共有・対立解消・合意形成などを経て協働に導く技術を習得します。

期待される研修効果

ファシリテーションは単なる会議進行の技術ではありません。ファシリテーションの目的は「協働」であり、決められた内容が実行され、効果を生み出すことにあります。そのために必要な「5つの要素」からなる効果的な話し合いをするための技術を学び、参加者のモチベーションを高めながら意思決定する手法を身につけます。

- 対象者** プロジェクトリーダー・管理職など
受講人数 6名～24名
基本研修時間 18時間 **リミット時間** 24時間
達成目標 ■ファシリテーションの目的とファシリテーターの役割を理解する
 ■ファシリテーターに求められる5つの技術を把握し、実践のための基礎技術を習得している



カリキュラム例

※研修目的・時間数・人数などにあわせてカスタマイズいたします。

時間	科目	内容
30min	オリエンテーション ／アイスブレイク	目的を明確にし、研修効果を高めるための意識づけを行ないます。 ◆研修の目的 ◆ビジネススキルの身につけ方
90min	ファシリテーション の効果	ファシリテーションがどう役立つのか、どのような効果があるのかを解説します。 ◆ファシリテーションの目的 ◆話し合いの効果(グループ演習)
60min	観る:場を作る	効果的な話し合いをするためには、まずは意見が出やすい環境をつくらなければなりません。そのための事前準備や進行のポイントを解説します。 ◆事前準備の大切さ ◆場づくりの技術
60min	聴く:巻き込む。	ファシリテーションの基本スキルの一つが「相手の話を受け止める」こと。ここでは聴く技術によってメンバーを巻き込む手法を学んでいただきます。 ◆聴く効果 ◆傾聴トレーニング(ペア演習・グループ演習)
180min ～ 300min	描く:共有する。	言葉だけの話し合いでは、道筋がずれたり、意見をまとめることが難しくなったりします。そこで、議論を「見える化」する方法を解説します。 ◆描く効果 ◆会話を描くトレーニング(個人・グループ演習)
180min ～ 240min	問う:引き出す。	問いかけや図を用いて意見を引き出すことが、参加者の満足度につながりません。それらの技術を学ぶとともに、対立が生じたときの対応を解説します。 ◆意見を引き出すトレーニング(演習) ◆対立(コンフリクト)の対処
240min ～ 300min	繋ぐ:収束する。	意見を引き出すということは、それをまとめていく技術も必要になります。ここでは意見をグルーピング化してまとめる技術を習得していただきます。 ◆グルーピングのやり方 ◆意見をまとめるトレーニング(演習)
240min ～ 360min	ファシリテーション トレーニング	今回学んだ手法を振り返りながら、各受講者がファシリテーターを経験する総合演習を行うとともに、学んだ内容を実践する宣言を行います。 ◆総合トレーニング(グループ演習) ◆実行宣言

※受講者数や演習の進捗状況によって、時間や内容を変更する場合がございます。

※上記カリキュラムを何日間かに分けて開催することも可能です。必ずしも連続した日程で行う必要はありません。

※基本研修時間のみの研修を実施することや、一部の内容のみを行う研修を実施することも可能です。

■本研修の特徴:「描く」「問う」「繋ぐ」「ファシリテーショントレーニング」においては、繰り返しそれぞれのテーマにそった演習を行い、基本技術を理解・習得するまでトレーニングを続けます。

研修価格:研修時間・受講者数に関わらず 60 万円(税・交通費別)

■オプション:本研修終了後に実際に行っている会議を行っている現場にお伺いし、ファシリテーションを実施するためのサポートやファシリテーターの評価(フィードバック)を行います。

研修価格:本研修 60 万円+会議サポート1回 6 万円/3 時間(税・交通費別)

「本気のファシリテーション研修」では、ファシリテーションの基礎技術を習得していただくことをゴールとして設定しており、下記のトレーニングを行います。また、これらのトレーニングは設定された時間によって演習を終了する「時間基準」ではなく、理解された状態の確認によって演習を終了する「理解基準」によって行われます。時間を要しますが、研修効果を高め、実践に結びつけるために必要なプロセスです。

※各トレーニングともに、基本時間と最長時間(リミット)を設けています。本来であれば、リミットを設けずに理解するまでトレーニングを行うべきなのですが、人によって得手不得手が存在し、時間をかけても理解が促進されない場合があります。また、演習を長時間続けることによる負担も大きいいため、各トレーニングにリミットを設けさせていただいておりますことをご承知おきください。

(各受講者の理解達成度については報告書にて報告させていただきます)

【本気のファシリテーション研修にて行うトレーニング】

■ 会話を描くトレーニング

メンバーが話している内容を紙やホワイトボードに書きとめ、どのように話し合いが進行し、どのような意見が出たのかを共有することができる技術を身につけます。話し合いを有効なものにするためには必須とも言える技術であり、くり返し練習をしながら自分なりの「描くスタイル」を見つけます。

■ 意見を引き出すトレーニング

メンバーが意見を言いたくとも、言いにくい雰囲気であったり、遠慮をしてしまったりと様々な理由で意見を出さないことがあります。しかしそれではメンバーにとって納得のいかない結果になってしまうかもしれません。それを避けるため、意見を引き出して話し合いの密度を高めるいくつかの方法を学びながら、トレーニングを行います。



■ 意見をまとめるトレーニング

意見を引き出した後に、それをまとめる方法を知らなければ結論にたどり着きません。ここでは、出された意見をグルーピング化してまとめる手法をトレーニングして身につけます。

■ 総合トレーニング

今回の研修で学んだことをフル活用し、一人ずつファシリテーターになりながら話し合いを行います。と同時に、相互のフィードバック(振り返り)も行い、自分のファシリテーターとしての特徴や課題を見つけます。

研修内容・演習内容や料金、カスタマイズの相談など、お気軽にお問合せください。

お問合せアドレス info@be-it.biz